



②

かれらの朝は早く日がのぼる前から起き出している。やがてシャーマンによるやくよけの祈とうが行なわれ、一日が始まる。夜がすっかりあけたころ、男たちのほとんどはすでに狩へ、女たちは川へ水くみに。

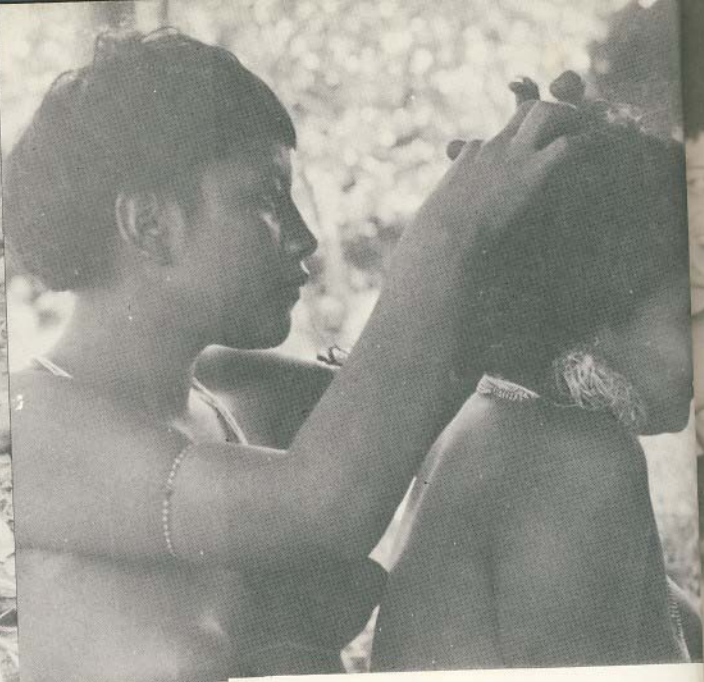


③



④





⑥

⑦



⑧

⑨



午前中、女たちは畑へいって食物をとったりマキを切ったり、または部落の中でバスケットや腰みのを編んだり、糸をつむいだり、しらみをとったり合ったり……。

午後、狩に出かけた男たちがそろそろ戻り始め、獲物をさばく。夕方、女たちは一団となって畑へ出かけ、バナナやイモを満載して帰り食事のしたくにかかる。

日が暮れて赤あかと燃える火を囲んで談笑の中で食事が始まる。食物はまず男から、そして女、子ども。



10

夜のダンスはかれらにとって最高に楽しい時だ。はじめたら4～5時間、踊りまくり、動きまくり、走りまくるのだ。最後にみなで大歓声をあげてかれらの一日がくれる。

11



おんな

ヤノマムの女たちはよく働く。収穫、家事、育児——すべて女の仕事だ。力のいるマキ割りから繊細なビーズ編みまで、一日中はたらいており、そして一日中、口に何か入れている。

⑫





⑬

おとこ

ヤノマムの男たちは社交好きで旅好きだ。数百kmはなれた部落間をつねに行ったり来たりである。また迫害の歴史をもたないかれらは文明人に対してもきわめて友好的である。

⑭





⑮

こども

⑯

子どもたちの遊びは、男の子は父親のまね、女の子は母親のまねをすることから始まる。

男の子は父親につくってもらった弓矢をもって部落の外で、女の子は部落の中で「働き者」の母親を見習う。

母のおなかをゆりかごに子どもは何を思うのか——

やがてこの子も親のしごとが手伝えるようになり、そして次第に、もの知りでたくましいおとなたちの仲間入りをするのだ。

